

# 平成24年度 茅ヶ崎市市民討議会報告書

茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会



## 目次

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 実行委員長あいさつ             | 1  |
| 1 市民討議会の実施概要          |    |
| (1) 日程等               | 2  |
| (2) 討議テーマと情報提供        | 2  |
| (3) スケジュール            | 2  |
| 2 市民討議会の討議のヒント        |    |
| (1) 討議 1              | 3  |
| (2) 討議 2              | 3  |
| 3 市民討議会の提言のまとめ        |    |
| (1) 討議 1              | 4  |
| (2) 討議 2              | 10 |
| 4 アンケートの結果            |    |
| (1) 事前アンケート           | 17 |
| (2) 事後アンケート           | 21 |
| (3) 不参加者アンケート         | 27 |
| 5 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会の動き | 29 |
| あとがき                  | 30 |

## 実行委員長あいさつ

2009年より始まった茅ヶ崎市「市民討議会」も今年で第4回を迎えました。現在全国各地にて市民討議会が開催されておりますが、ここ茅ヶ崎市では、市・青年会議所・文教大学という官・民・学の三者がそれぞれ協力しあって開催するという恵まれた環境で行われてまいりました。一回の討議会に参加される市民の方は40名弱ですので、今までに参加された市民の方は150名程度と、まだまだ市民の皆様の間での認知度は低いかもしれませんが、この事業は大変大きな可能性を秘めているものと考えております。

それは「市民の皆様の声なき声を聞くことができる」という点です。市政への市民参加が進む昨今、市民の皆様がご自分の考えや意見を市に伝える方法としては、パブリックコメントやワークショップ等様々な方法がございます。しかし、そのような方法で自ら市政に対し意見を伝えていただける方というのは限られているのではないのでしょうか。もちろん各手法にはそれぞれの利点・長所があり、積極的に市政に意見を伝えていただける市民の方々がいらっしゃるということは大変心強く、素晴らしいことではありますが、そうした方々の意見だけでは片寄りというもの生まれてしまう可能性もございます。その点「市民討議会」は無作為抽出による参加ですから、今まで意見を聞くことができなかった市民の皆様の声を知ることができるという点で、これほど優れた方法はないと思います。また、単に意見を出すだけではなく「討議」をいたしますので、よりそれぞれの意見が洗練されるということも「市民討議会」の優れた特徴です。今後、パブリックコメントやワークショップ等と共に、新たな市民参加の手法として、この「市民討議会」が活用されていくことでしょう。

本年はテーマを「地震に向き合う、助け合う～あなたの不安をみんなで解消するためには？」として行いました。行政だけに頼らず、災害時に自分たちにできることは何であろうということを考える、まさに「市民討議会」向きのテーマであったと思います。

最後に、本年も「市民討議会」を開催していただいた服部信明茅ヶ崎市長に心からの感謝をいたしましてご挨拶にかえさせていただきます。

平成24年度 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会委員長 桐山 幸一郎  
(公益社団法人 茅ヶ崎青年会議所)



## 1 市民討議会の実施概要

### (1) 日程等

- ア 日 時 平成24年10月28日(日) 10時00分～17時00分  
イ 会 場 高砂コミュニティセンター  
ウ 参加者 34名  
エ 主 催 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会  
(文教大学湘南総合研究所及び公益社団法人茅ヶ崎青年会議所で構成)

### (2) 討議テーマと情報提供

- ア 全体テーマ  
「地震に向き合う、助け合う ～あなたの不安をみんなで解消するためには?～」  
イ 個別テーマ  
討議1「発災からの3日間、みんな(集まった市民)で行う避難所運営」  
討議2「長期にわたる避難所生活、少しでも「豊か」に「快適」に過ごすためには」  
ウ 情報提供  
○アイスブレイク HUG(避難所運営ゲーム) (進行:茅ヶ崎市市民安全部防災対策課  
主任 佐々田享洋)  
○討議1 「発災からの3日間みんな(集まった市民)で行う避難所運営」  
(情報提供1回目:茅ヶ崎市市民安全部防災対策課主任 佐々田享洋)  
○討議2 「長期にわたる避難所生活、少しでも「豊か」に「快適」に過ごすためには?」  
(情報提供2回目:富士常葉大学環境防災学部 客員教授 井野盛夫氏)

### (3) スケジュール

- 10:00 開会、主催者挨拶  
10:10 趣旨、進行及び経緯の説明  
10:20 アイスブレイク(HUG)  
11:00 【休憩】  
11:10 情報提供①  
11:20 グループ討議①  
12:30 【昼食休憩】  
13:20 グループ討議①の内容発表・投票  
13:50 【休憩】  
14:00 情報提供②  
14:20 グループ討議②  
15:30 グループ討議②の内容発表・投票  
16:00 【休憩】  
16:10 グループ討議②について講評(井野盛夫氏)  
16:20 討議内容のまとめの話し合い・アンケート  
16:50 市民討議会全体について講評(山田修嗣氏)  
17:00 閉会

## 2 市民討議会の討議のヒント

### (1) 討議1「発災からの3日間、みんな（集まった市民）で行う避難所運営」

|                              |                                                                                     |
|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 内容                           | 参加者への質問文                                                                            |
| 自己紹介                         | お名前、お住まい、何か一言                                                                       |
| 発災からの3日間、みんな（集まった市民）で行う避難所運営 |                                                                                     |
| 課題出し                         | ①避難所では、どのような問題が想定されるでしょうか？                                                          |
| 解決策、個人としてできること               | ②避難所において想定される問題を解決するために、どのようなことが必要でしょうか？<br>また、問題解決のために必要なことについて、あなたはどのようなことができますか？ |
| みんなで実施すべきこと                  | ③みんなで行う避難所運営のルールとして決めておいた方が良いことは？                                                   |

### (2) 討議2「長期にわたる避難所生活、少しでも「豊か」に「快適」に過ごすためには」

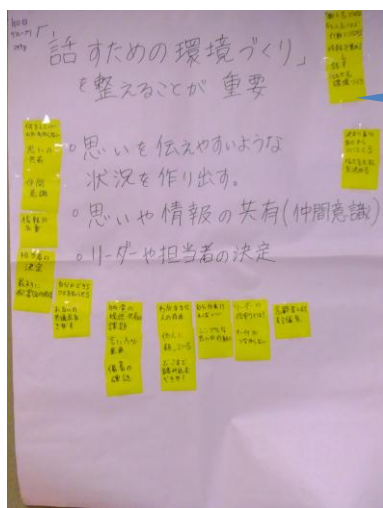
|                                   |                                                  |
|-----------------------------------|--------------------------------------------------|
| 内容                                | 参加者への質問文                                         |
| 自己紹介                              | お名前、お住まい、何か一言                                    |
| 長期にわたる避難所生活、少しでも「豊か」に「快適」に過ごすためには |                                                  |
| 課題出し                              | ①避難所生活が長期化した場合、あなたは何に困りますか？                      |
| 個人の解決策                            | ②避難所でのあなたの困り事を解消し、少しでも日常に近い生活を送るためには何が必要でしょうか？   |
| みんなの解決策                           | ③避難所で、できるだけ多くの人の困り事を解消し、少しでも快適に過ごすためには何が必要でしょうか？ |

### 3 市民討議会の提言のまとめ

#### (1) 討議1 「発災からの3日間、みんな（集まった市民）で行う避難所運営」

- ①避難所では、どのような問題が想定されるでしょうか？
- ②避難所において想定される問題を解決するために、どのようなことが必要でしょうか？  
また、問題解決のために必要なことについて、あなたはどのようなことができますか？
- ③みんなで行う避難所運営のルールとして決めておいた方がよいことは？

|           |                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 討議① グループ1 |                                                                                                                                                                                                                               |
| 問題の想定     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・何をしていいのか、わからない</li> <li>・物資の提供・共有</li> <li>・わがままな人の存在</li> <li>・高齢者に対する偏見</li> </ul>                                                                                                  |
| 解決案・必要なこと | <ul style="list-style-type: none"> <li>・想いの共有(仲間意識)</li> <li>・情報の提供・共有<br/>自分のできることを知らせる・お互いの共通点を探す</li> <li>・担当者の決定・リーダーの設定・指示を出す人の決定<br/>決まりごとは後からついてくる</li> <li>・最初に配置図を作成する</li> <li>・「教える」ではなく「伝える」ことで行動につながる</li> </ul> |
| 提言まとめ     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すための環境づくり」を整えることが重要</li> <li>・思いを伝えやすいような状況を作り出す</li> <li>・思いや情報の共有(仲間意識)</li> <li>・リーダーや担当者の決定</li> </ul>                                                                          |



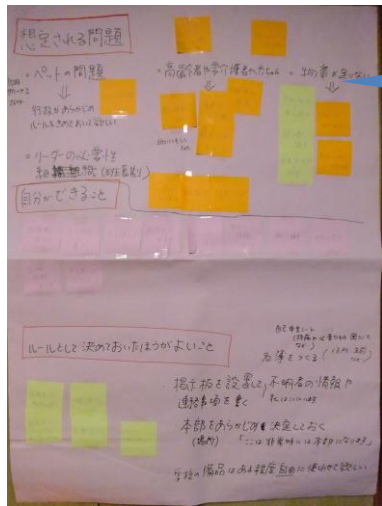
討議① グループ1 のプレゼンテーションシート

獲得ビー玉重量

244g

「市民討議会」参加者の支持率を、1人5個のビー玉投票で計りました。

|            |                                                                                                                                                                                                                                   |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 討議① グループ 2 |                                                                                                                                                                                                                                   |
| 問題の想定      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペットの問題<br/>行政があらかじめルールを決めておいてほしい</li> <li>・ 高齢者、要介護者や乳児<br/>善意の行動、個々の得意分野を生かす、自己情報・データの開示</li> <li>・ 物資の不足<br/>自宅からの持参、食糧配布の優先順位(弱いもの優先<br/>医者、看護師の助言が欲しい</li> <li>・ リーダーの必要性</li> </ul> |
| 解決案・必要なこと  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指揮のできる人を集める</li> <li>・ ママ同士の集まり(主婦の経験を活かす)</li> <li>・ 知恵を出す</li> <li>・ 班を作る</li> <li>・ 話し相手</li> <li>・ ルールに従う</li> <li>・ 具合の悪い人の定期的なチェック</li> </ul>                                      |
| 提言まとめ      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己申告カード(持病、困り事等)、名簿を作る</li> <li>・ 掲示板を設置して不明者の情報や連絡事項を書く</li> <li>・ 本部をあらかじめ決定しておく</li> <li>・ 学校の備品は、ある程度自由に使わせてほしい</li> </ul>                                                           |

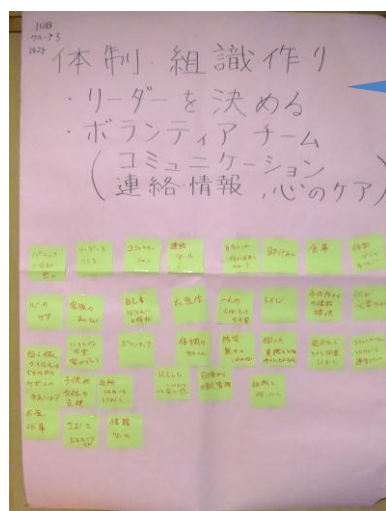


討議① グループ 2 のプレゼンテーションシート

獲得ビー玉重量

260g

|            |                                                                                                                                                                              |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 討議① グループ 3 |                                                                                                                                                                              |
| 問題の想定      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・パニックになる</li> <li>・衣食住の確保</li> <li>・けが人の手当て</li> <li>・心のケア</li> <li>・一人になることの不安</li> <li>・衛生面での不安(食事・トイレ等)</li> <li>・お金、仕事</li> </ul> |
| 解決案・必要なこと  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを取りながら運営</li> <li>・市役所からの情報提供</li> <li>・個人の意識を高め、他人に頼らない</li> </ul>                                                         |
| 提言まとめ      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体制・組織作り</li> <li>・リーダーを決める</li> <li>・ボランティアチーム(コミュニケーション・連絡情報・心のケア)</li> </ul>                                                       |

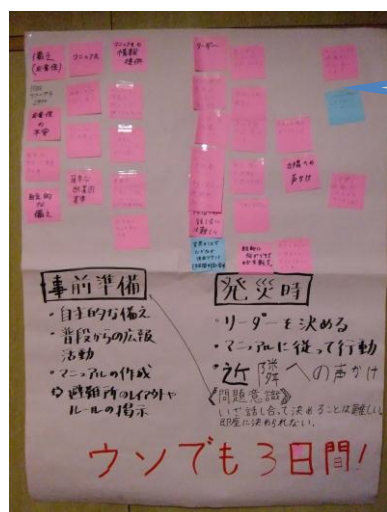


討議① グループ 3 のプレゼンテーションシート

獲得ビー玉重量

2 4 2 g

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 討議① グループ 4 |                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 問題の想定      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣食住の不安</li> <li>・市民の防災への意識が低い</li> <li>・突然のことでなかなか決められない<br/>市民間での話し合いは難しい</li> <li>・小学校が避難所になるのは危険<br/>児童の安全確保が難しいから</li> </ul>                                                                                                    |
| 解決案・必要なこと  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・備蓄は基本的に自分で行う</li> <li>・マニュアルを事前に作成しておくべき</li> <li>・マニュアル等の情報を提供する<br/>市民の意識づけ</li> <li>・リーダーを事前に決めるべき<br/>学校関係者等がリーダーになるべき<br/>防災リーダーが必要</li> </ul>                                                                                 |
| 提言まとめ      | <p>&lt;事前準備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的な備え</li> <li>・普段からの広報活動</li> <li>・マニュアルの作成<br/>避難所のレイアウトやルールの掲示</li> </ul> <p>&lt;発災時&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーを決める</li> <li>・マニュアルに従って行動、近隣への声掛け<br/>嘘でも三日間持たせるためのルール</li> </ul> |

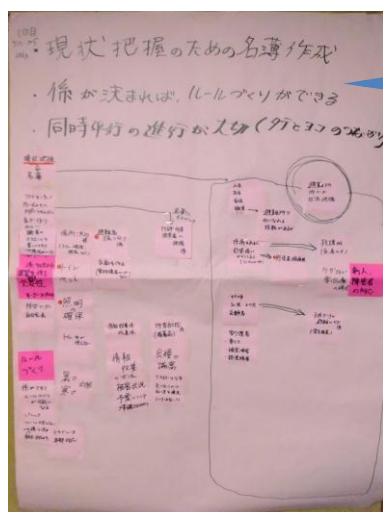


討議① グループ 4 のプレゼンテーションシート

獲得ビー玉重量

290g

|            |                                                                                                                                                                                 |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 討議① グループ 5 |                                                                                                                                                                                 |
| 問題の想定      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難者の現状把握</li> <li>・場所決め・振り分け</li> <li>・トイレ・ペット</li> <li>・照明の確保</li> <li>・暑さ寒さ対策</li> <li>・物資(食糧・乳児用のミルク)</li> <li>・病人・障害者の対応</li> </ul> |
| 解決策・必要なこと  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状把握のための名簿作成</li> <li>・係を決める</li> <li>・ルール作り</li> <li>・同時平行で進行が大切(タテ・ヨコのつながり)</li> </ul>                                                |
| 提言まとめ      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部門(行方不明者捜索者へ把握係・避難者振り分け係・救護・情報収集・物資配給・子供のケア 等)で係を作る</li> <li>・運営本部を作る</li> <li>各係のトラブルの対応</li> </ul>                                   |

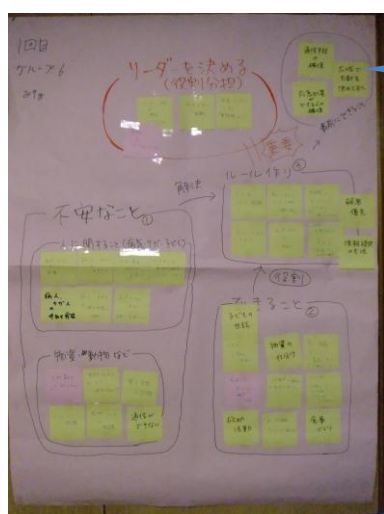


討議① グループ 5 のプレゼンテーションシート

獲得ビー玉重量

206g

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 討議① グループ 6 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 問題の想定      | <p>&lt;人に関すること&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供たちの保護・世話</li> <li>・ 病人・けが人の区別(怪我の程度の区分け)</li> <li>・ どこまでの処置ができるのか</li> <li>・ 病人、けが人の状態の把握</li> </ul> <p>&lt;物資・動物など&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食糧の供給</li> <li>・ 寒さ対策</li> <li>・ 海側の人の避難</li> <li>・ トイレの問題</li> <li>・ 動物・ペットの問題</li> <li>・ 通信ができない</li> </ul> |
| 解決策・必要なこと  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供の世話</li> <li>・ 人数の把握</li> <li>・ 家族の安否確認・方法</li> <li>・ 物資の仕分け</li> <li>・ 情報</li> <li>・ ルール作り</li> <li>・ 食事作り</li> <li>・ 近所同士の声掛け</li> </ul>                                                                                                                                                                |
| 提言まとめ      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リーダーを決める</li> <li>・ 役割分担をする</li> <li>・ 情報提供</li> <li>・ 通信手段の確保</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                   |



討議① グループ 6 のプレゼンテーションシート

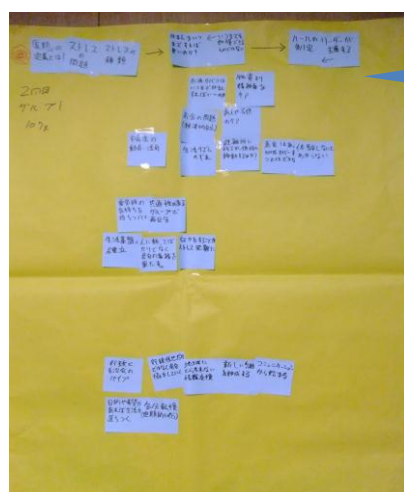
獲得ビー玉重量

209g

(2) 討議2「長期にわたる避難所生活、少しでも「豊か」「快適」に過ごすためには」

- ①避難所生活が長期化した場合、あなたは何に困りますか？
- ②避難所でのあなたの困り事を解消し、少しでも日常に近い生活を送るためには何が必要でしょうか？
- ③避難所で、できるだけ多くの人の困り事を解消し、少しでも快適に過ごすためには何が必要でしょうか？

|              |                                                                                                                                                                                                             |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 討議② グループ1    |                                                                                                                                                                                                             |
| 困りごと・ストレスの種類 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・我慢をいつまですればよいのか</li> <li>・いつまでも我慢できるわけではない</li> <li>・お酒、たばこ</li> <li>・精神面</li> <li>・病人や子供のケア</li> <li>・生活リズムのズレ</li> <li>・避難所に残るか移動するのか</li> <li>・お金の問題</li> </ul>   |
| 解決策・必要なこと    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生動員活用</li> <li>・生活基盤の確立</li> <li>・何かをすることがストレス発散</li> <li>・人に頼るばかりでなく各自の義務を果たす</li> </ul>                                                                         |
| 提言まとめ        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政と自治会とのパイプ</li> <li>・行政任せではなく各自協力していく</li> <li>・地域に捉われない情報交換</li> <li>・新しい組織を形成する</li> <li>・コミュニケーション</li> <li>・目的や希望があれば生活が落ち着く</li> <li>・気分転換(定期的に行う)</li> </ul> |

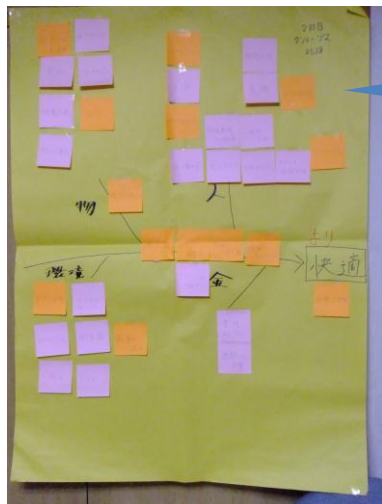


討議② グループ1 のプレゼンテーションシート

獲得ビー玉重量

107g

|              |                                                                                                                                                      |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 討議② グループ 2   |                                                                                                                                                      |
| 困りごと・ストレスの種類 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣食住の保障</li> <li>・心理的不安 心のケア</li> <li>・体調不良</li> <li>・衛生面(風呂・トイレ)</li> </ul>                                  |
| 解決策・必要なこと    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特殊事情の配慮</li> <li>・正確な情報</li> <li>・身体を動かす</li> <li>・マスコミの協力</li> <li>・情報開示</li> <li>・正確な情報の入手方法</li> </ul>    |
| 提言まとめ        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレス発散のためのスペース(大人・小人)</li> <li>・井戸、銭湯の協力</li> <li>・ストレス発散部隊</li> <li>・地域のネットワーク</li> <li>・リーダーづくり</li> </ul> |

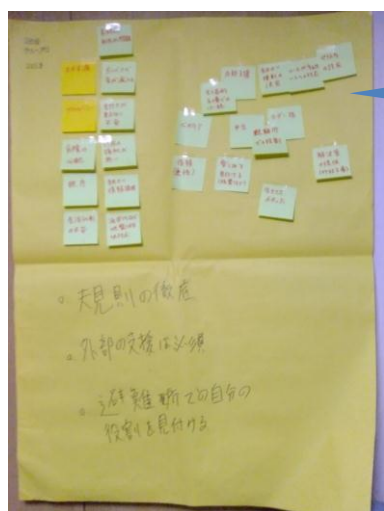


討議② グループ 2 のプレゼンテーションシート

獲得ビー玉重量

2 5 3 g

|              |                                                                                                                                                                   |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 討議② グループ 3   |                                                                                                                                                                   |
| 困りごと・ストレスの種類 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期化自体が問題</li> <li>・先行きが見えない不安</li> <li>・食料の分配</li> <li>・秩序</li> <li>・生活(仕事)の不安</li> <li>・退屈で気が滅入る(不平不満・プライバシー)</li> </ul> |
| 解決策・必要なこと    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・心のケア</li> <li>・細かい情報提供</li> <li>・細かい規則の設定</li> <li>・外部の支援</li> <li>・避難所での自分の役割を見つける</li> </ul>                            |
| 提言まとめ        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・解決策の提供(行政主導)</li> <li>・楽しみを見つける(娯楽など)</li> <li>・ルールが守れない人へのペナルティ</li> <li>・第三者的立場での傾聴</li> </ul>                          |



討議② グループ 3 のプレゼンテーションシート

獲得ビー玉重量

2 2 5 g

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 討議② グループ 4   |                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 困りごと・ストレスの種類 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なストレス<br/>普段の生活ができない(今までできたことが出来なくなる)</li> <li>・集団で生活することのストレス<br/>生活習慣のズレ(多くの生活スタイル)・騒音・乳児を持つ家族</li> <li>・一人で孤立することのストレス<br/>お年寄りなど</li> <li>・物理的、経済的なストレス<br/>経済的不安、雇用、仕事の復帰(できるのか)<br/>タバコ、お酒</li> <li>・ペット</li> <li>・受験生などのケア</li> </ul> |
| 解決策・必要なこと    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレスの発散<br/>空間づくり(プライベート・コミュニケーション)</li> <li>・避難所での仕事・やりがいづくり</li> </ul>                                                                                                                                                                       |
| 提言まとめ        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発散する方法<br/>サークル活動、趣味、時間を配分する</li> <li>・避難所の実態調査</li> <li>・避難所での仕事づくり</li> <li>・コミュニケーションの空間づくり</li> </ul>                                                                                                                                      |

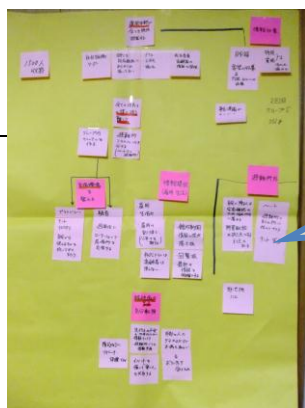


討議② グループ 4 のプレゼンテーションシート

獲得ビー玉重量

241g

|                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 討議② グループ 5          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>困りごと・ストレスの種類</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての住民を一律に扱う難しさ</li> <li>・生活環境<br/>騒音・プライバシー</li> <li>・避難所外のケア</li> <li>・情報収集</li> <li>・精神面のケア</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>解決策・必要なこと</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供<br/>雇用・生活力</li> <li>・運営組織</li> <li>・情報収集</li> <li>・避難所ごとのルール</li> <li>・グループ内マニュアル</li> <li>・行政などへの依頼</li> <li>・事前準備</li> <li>・気分転換<br/>外部の人に愚痴れるだけで不満も和らぐ</li> </ul>                                                                                                                                                                                           |
| <p>提言まとめ</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供(情報インフラ・共有)<br/>回覧板・館内新聞・掲示板・目安箱</li> <li>・自治組織、リーダー<br/>役割を既存組織にあらかじめ振り分ける(PTA・子供会・婦人会)<br/>民生委員(高齢者の情報提供)</li> <li>・騒音 週単位で場所をローテーションする</li> <li>・プライバシー テント仕切り、自宅からの使える機材を持ち込んでもらう</li> <li>・避難所外<br/>自宅に帰る人 安否確認のため指定日時に集まる<br/>物資配給の拠点にする</li> <li>・ペット<br/>避難所と別のところに住んでもらう<br/>テント貸与</li> <li>・積極的に運動</li> <li>・イベントの催し</li> <li>・ボランティアの受け入れ</li> </ul> |

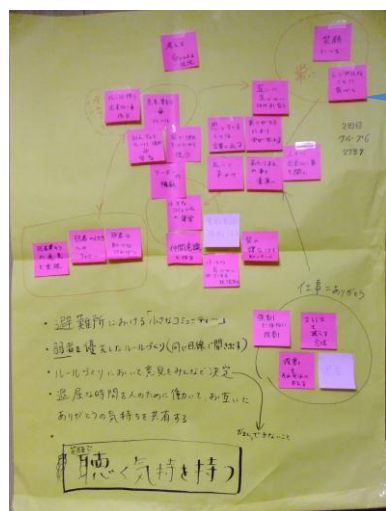


討議② グループ 5  
のプレゼンテーション  
シート

獲得ビー玉重量

3 6 1 g

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 討議② グループ 6   |                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 困りごと・ストレスの種類 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールを作り、守ること</li> <li>・退屈</li> <li>・弱者のケア</li> </ul>                                                                                                                                                                                          |
| 解決策・必要なこと    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・考える</li> <li>・意見を言える環境<br/>思っていることは話す・受け入れる状況が必要・当たり前のことを素直に</li> <li>・ルール作り<br/>みんなでルールを決め、守る(従う)</li> <li>・常に笑顔でいる</li> <li>・シンプルなことに気付く</li> <li>・お互いに声掛け(気遣い・励まし合い)</li> <li>・弱者の人たちへのフォロー<br/>弱者の意見を尊重</li> <li>・強制ではない役割づくり</li> </ul> |
| 提言まとめ        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー</li> <li>・小さなコミュニティの運営</li> <li>・ルール作りをみんなで決める</li> <li>・ありがたい気持ちの共有</li> <li>・退屈な時間を人の為に働く</li> <li>・笑顔で聴く気持ちを持つ</li> </ul>                                                                                                            |



討議② グループ 6 のプレゼンテーションシート

獲得ビー玉重量

278g

## 討議まとめ

討議①、②を通して、「リーダーの存在」「運営本部等の決定機関」の必要性を求める声が多かった。

背景には、突発的な災害の直後において、市民(避難所に暮らす人々)だけでは、秩序や避難所のルールを決め、運営することが難しいのではないかという懸念があった。個別のルール・秩序をあらかじめ設定する必要があるということが指摘されている。

また、情報の提供、共有が必要であるという意見、避難所生活でのストレスの軽減のため、という2つの点からコミュニケーションの場の必要性が語られている。長期的な避難所生活において、流動的に避難所の運営方針を作り変えるという意味でも、コミュニケーションの空間の設定が必要であると指摘されている。

平成24年度 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会 副実行委員長 横野 拓也  
(文教大学大学院 国際協力学研究科)

## 4 アンケートの結果

### (1) 事前アンケート

(※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しません)

#### 【参加者の属性について】

##### F1,職業

|             |   |
|-------------|---|
| ① 農業・漁業     | 0 |
| ② 自営業・経営者   | 1 |
| ③ 自由業       | 0 |
| ④ 家事手伝い     | 0 |
| ⑤ 公務員・団体職員  | 0 |
| ⑥ 専門技術職     | 3 |
| ⑦ 事務職       | 8 |
| ⑧ 販売・サービス職  | 2 |
| ⑨ 製造・労務職    | 0 |
| ⑩ パート・アルバイト | 4 |
| ⑪ 家事専業      | 6 |
| ⑫ 学生        | 1 |
| ⑬ 無職        | 7 |
| ⑭ その他       | 1 |

##### F2,家族形態

|             |  |
|-------------|--|
| ① 単身        |  |
| ② (自身の)夫婦のみ |  |
| ③ 未婚の子どもと同居 |  |
| ④ 既婚の子どもと同居 |  |
| ⑤ 親世代と同居    |  |
| ⑥ 三世代以上が同居  |  |
| ⑦ その他       |  |

##### F3,住居形態

|             |    |
|-------------|----|
| ① 持ち家 (戸建)  | 26 |
| ② 借家 (戸建)   | 0  |
| ③ 集合住宅 (分譲) | 4  |
| ④ 集合住宅 (賃貸) | 2  |
| ⑤ 公営住宅      | 1  |
| ⑥ 社宅        | 0  |
| ⑦ その他       | 1  |

##### F4,市内での居住年数(ただし、6については重複可) F5,茅ヶ崎での定住の意向

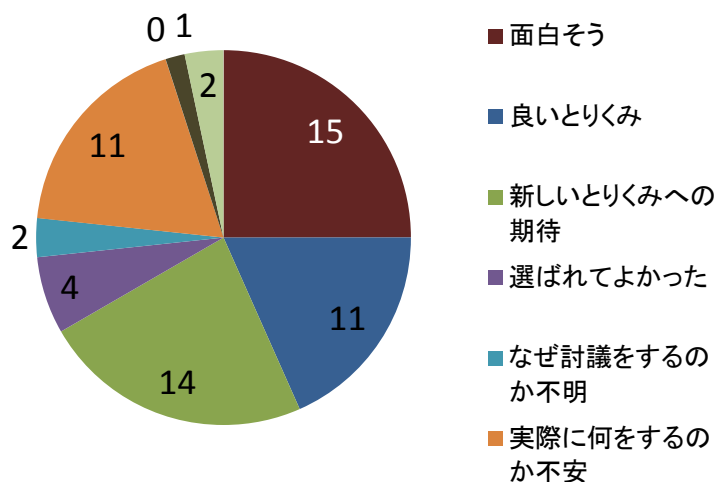
|             |    |
|-------------|----|
| ① 1年未満      | 0  |
| ② 1年～5年未満   | 4  |
| ③ 5年～10年未満  | 1  |
| ④ 10年～20年未満 | 5  |
| ⑤ 20年以上     | 21 |
| ⑥ 生まれてからずっと | 4  |

|              |    |
|--------------|----|
| ① 住み続けたい     | 17 |
| ② できれば住み続けたい | 12 |
| ③ できれば転出したい  | 1  |
| ④ 転出したい      | 0  |
| ⑤ わからない      | 4  |
| ⑥ その他        | 0  |

#### 【参加の動機について】

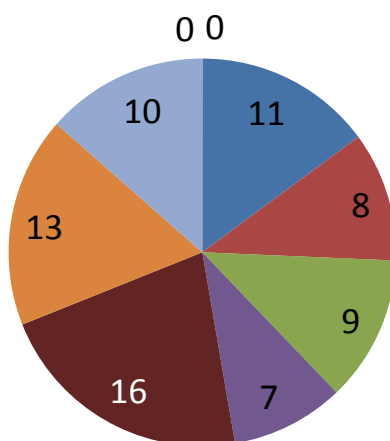
Q1, 市民討議会の手紙(参加依頼)が届いて、どのように感じましたか。

|               |    |
|---------------|----|
| ① 面白そう        | 15 |
| ② 良いとりくみ      | 11 |
| ③ 新しいとりくみへの期待 | 14 |
| ④ 選ばれてよかった    | 4  |
| ⑤ なぜ討議をするのか不明 | 2  |
| ⑥ 実際に何をするのか不安 | 11 |
| ⑦ つまらなそう      | 0  |
| ⑧ とくに感想はなかった  | 1  |
| ⑨ その他         | 2  |



Q2, なぜ討議会への参加を決意しましたか。

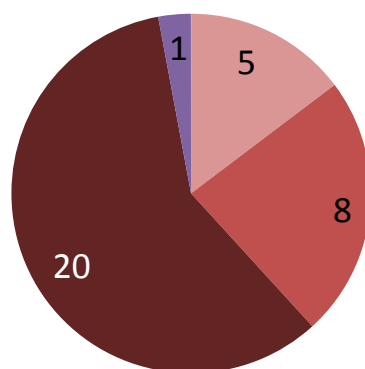
|                           |    |
|---------------------------|----|
| ① 討議会が興味深かった              | 11 |
| ② テーマが興味深かった              | 8  |
| ③ 日程的に都合がよかった             | 9  |
| ④ 市のために協力したかった            | 7  |
| ⑤ 市民の役割として大切だと思った         | 16 |
| ⑥ 新しいことにチャレンジしたかった        | 13 |
| ⑦ 市から手紙が届き参加しなければならないと思った | 10 |
| ⑧ 日頃から市に言いたいことがあった        | 0  |
| ⑨ その他                     | 0  |



- 討議会が興味深かった
- テーマが興味深かった
- 日程的に都合がよかった
- 市のために協力したかった
- 市民の役割として大切だと思った
- 新しいことにチャレンジしたかった
- 市から手紙が届き参加しなければならないと思った
- 日頃から市に言いたいことがあった
- その他

Q3, 謝礼の有無と参加決意の関係について、どのようにお考えですか。

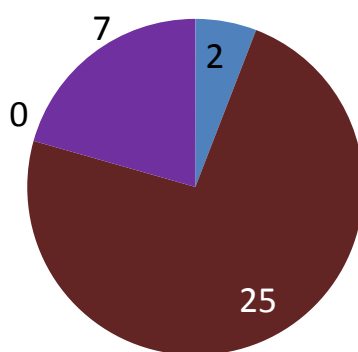
|                           |    |
|---------------------------|----|
| ① 必要だと思った(謝礼がなければ参加しなかった) | 5  |
| ② 不要だと思った(謝礼がなくても参加した)    | 8  |
| ③ どちらとも言えない               | 20 |
| ④ その他                     | 1  |



- 必要だと思った(謝礼がなければ参加しなかった)
- 不要だと思った(謝礼がなくても参加した)
- どちらとも言えない

Q4, 謝礼の金額について、どのように思いますか。

|           |    |
|-----------|----|
| ① 多いと思った  | 2  |
| ② 妥当だと思った | 25 |
| ③ 少ないと思った | 0  |
| ④ その他     | 7  |

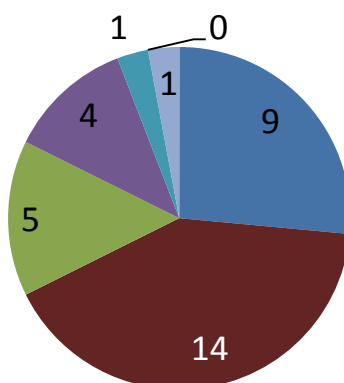


- 多いと思った
- 妥当だと思った
- 少ないと思った
- その他

## 【防災・災害対策について】

Q5, 災害発生直後を想定したとき、市に最も期待するのは何ですか。(○は1つ)

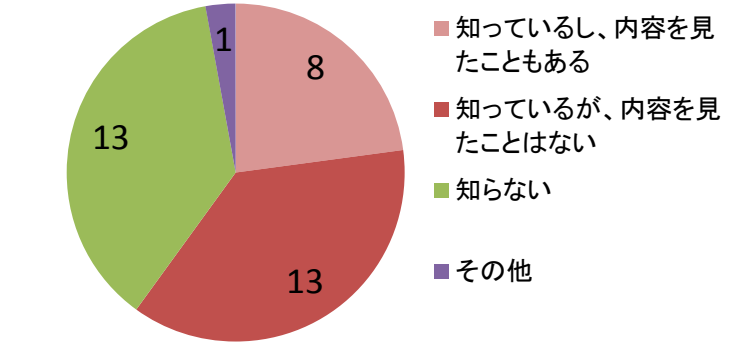
|              |    |
|--------------|----|
| ① 救援救助活動     | 9  |
| ② 災害情報の提供    | 14 |
| ③ 避難所の設置     | 5  |
| ④ 水や食料の提供    | 4  |
| ⑤ 生活全般の支援    | 1  |
| ⑥ 市民の自助活動の支援 | 0  |
| ⑦ その他        | 1  |



- 救援救助活動
- 災害情報の提供
- 避難所の設置
- 水や食料の提供
- 生活全般の支援
- 市民の自助活動の支援
- その他

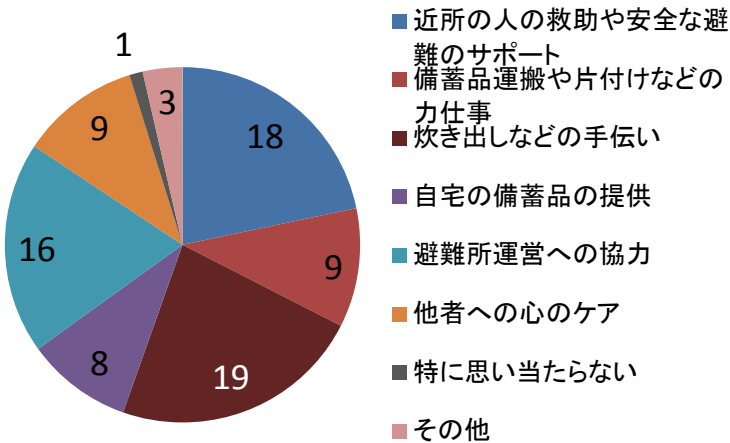
Q6, 市では災害対策のために、様々な計画やマニュアルの作成に取り組んでいます。ご存知ですか。

|                     |    |
|---------------------|----|
| ① 知っているし、内容を見たこともある | 8  |
| ② 知っているが、内容を見たことはない | 13 |
| ③ 知らない              | 13 |
| ④ その他               | 1  |



Q7, 災害発生時、あなたは市民として何ができるとお考えですか。（〇はいくつでも）

|                       |    |
|-----------------------|----|
| ① 近所の人への救助や安全な避難のサポート | 18 |
| ② 備蓄品運搬や片付けなどの力仕事     | 9  |
| ③ 炊き出しなどの手伝い          | 19 |
| ④ 自宅の備蓄品の提供           | 8  |
| ⑤ 避難所運営への協力           | 16 |
| ⑥ 他者への心のケア            | 9  |
| ⑦ 特に思い当たらない           | 1  |
| ⑧ その他                 | 3  |



Q8, 討議会に期待すること、地震に対する不安、市民の地震への対応などについて、自由にご記載下さい。

私は、東日本大震災発生時は沖縄県に住んでいたため、危機感が他の方に比べ低いと思います。しかし、海のそばに住んでいるので、津波に対する市の対策広報など、もっとわかりやすい案内が海のそばに必要だといつも思います。

|                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>討議会に期待すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現実的に可能な事を具体的に決め実行すること。</li> <li>・ 災害実例を用いて、何が出来、災害防止、二次災害等防ぐ手順の具体化</li> </ul>                 |
| <p>地震に対する不安</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あてにしている人間が、いざ突然いなくなっても、手段が消えず、自分以外あてにできる人を確保すること。</li> <li>・ 情報の錯乱、電気・ガス・水道が無い状態での生活</li> </ul> |
| <p>市民の地震への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近所の声かけ、安否確認</li> <li>・ 個人個々の緊急時、やる事、やってはいけない事、の取り決め</li> </ul>                                 |
| <p>交通の確保。家族の確認。</p>                                                                                                                                      |
| <p>色々な意見を取り入れていただき、実際のおきた時、速やかに行動していただきたい。個人の力は、限りがあるが、人がたくさん集まればなんとかなると思います。普段より、色々な取り組みをしていることを、もっとわかり易く、興味をひく様に、広報活動して下さい。そうすれば、不安は、多少なくなると思います。</p>  |
| <p>広報（広報紙だけでなく）をもっとたくさんしてほしい。</p>                                                                                                                        |

答えは、ひとつではありません。対応数もいろんなパターンを地域・場所のパターンに合わせてマニュアルを作成するべきです。（だと思います。）

海岸地域、川沿いの地域への津波対策がなされているか。学校での地震に対するハード・ソフト面での対応。個人的には帰宅難民になった場合についての不安。

初めての経験です。皆様の意見を多く聞き、参考にしながら、自分はどうしたらよいか、協力できるかを考えたいと思います。

風評被害を最小にするそれぞれの強い意志へつなげるには、二次災害、“自分さえ良ければ…”の行動から→思いやり行動につなげられるか？マスコミの力も大きいのだが。近隣との関係を考えてると困難感が強い。

高齢の夫婦のみの生活ですので、地震・津波発生時、安全に避難できるかどうか日頃不安を感じています。

先週の防災訓練に参加し、実際に地震が発生した時役立つように、度々訓練を受ける必要性を感じました。

情報を市民に適確に、かつ速やかに伝える方法を確立しておくことが大事であると思います。

この会の案内を戴いて軽い気持ちで応募いたしましたが、私の能力で実行委員の方々に答える事が出来るかと今深く不安になっています。地震は全く予測出来ないし、発生した規模・曜日・時間・地域等に依って違いあると思います。第一大切なのは、近所の連携だと思いますが、悲しいかな我マンションでも99軒のうち、地域の防災訓練に出席したのが、当番二人と一般の二人だけでした。我が家だけは大丈夫と考えていられるのでしょうか。この意識を変えることが必要だと思います。

討議会に参加して本当に良かった、為になったと思って帰宅したい。

もし、この地域に地震があった場合に、津波はどこの範囲迄到達するのか知りたい。又、近くでの避難場所で、高所がどこにあるのか知りたい。

海岸を散歩時、地震に遭遇した場合の不安、所々に海拔何メートルと書いてあるのを見てはいますが、今一つピンとこない。

防災茅ヶ崎の放送の使用方法（マンネリ化しない用に、ランク付）など。

液状化の不安への対策の件

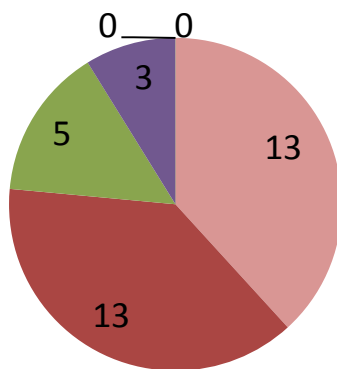
## (2) 事後アンケート

(※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しません)

|                                      | 1        | 2                          | 3                             | 4                                                                  | 5                          |
|--------------------------------------|----------|----------------------------|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------|----------------------------|
|                                      | そう<br>思う | そう<br>思う<br>ばか<br>どち<br>らか | い<br>も<br>言え<br>な<br>どち<br>らと | 思<br>わ<br>な<br>い<br>言<br>え<br>ば<br>そ<br>う<br>ど<br>ち<br>ら<br>か<br>と | そ<br>う<br>思<br>わ<br>な<br>い |
| Q1. 今回の市民討議会について、感想や印象をお聞かせください。     |          |                            |                               |                                                                    |                            |
| A 市民討議会はおもしろかったですか                   | 20       | 9                          | 2                             | 0                                                                  | 3                          |
| B 討議の進め方はわかりやすかったですか                 | 12       | 14                         | 5                             | 0                                                                  | 3                          |
| C 進め方に関する説明は十分だと思いましたか               | 8        | 14                         | 9                             | 1                                                                  | 2                          |
| D 各回の情報提供で、討議がおこないやすくなりましたか          | 11       | 17                         | 2                             | 2                                                                  | 2                          |
| E 討議1のテーマは、話しやすかったですか                | 15       | 12                         | 4                             | 1                                                                  | 2                          |
| F 討議2のテーマは、話しやすかったですか                | 8        | 13                         | 7                             | 2                                                                  | 4                          |
| G 討議を通して個人意見がより成熟したと感じられましたか         | 13       | 10                         | 8                             | 1                                                                  | 1                          |
| H グループでの意見は、十分な合意により形成されましたか         | 9        | 19                         | 5                             | 0                                                                  | 0                          |
| I 投票によって得られた意見は、満足のいく内容でしたか          | 6        | 14                         | 12                            | 2                                                                  | 0                          |
| J 市民討議会は市民の声を反映させるのに有効な手法と感じましたか     | 12       | 11                         | 8                             | 0                                                                  | 3                          |
| K 討議に参加して、市民が「まちづくりの主演」という印象が強まりましたか | 9        | 13                         | 8                             | 0                                                                  | 4                          |

Q2, グループごとの話し合いは、円滑に進みましたか。

|                  |    |
|------------------|----|
| ① 円滑に進んだ         | 13 |
| ② やや円滑に進んだ       | 13 |
| ③ どちらともいえない      | 5  |
| ④ やや行き詰まったときがあった | 3  |
| ⑤ 何度も行き詰まった      | 0  |
| ⑥ その他            | 0  |



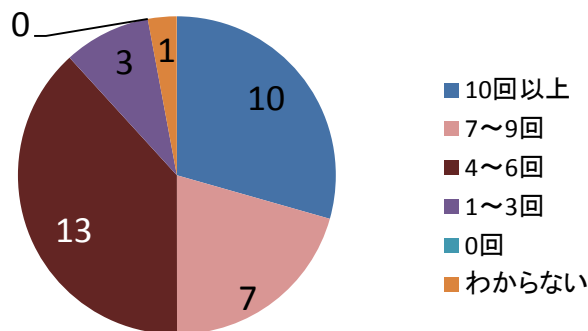
- 円滑に進んだ
- やや円滑に進んだ
- どちらともいえない
- やや行き詰まったときがあった
- 何度も行き詰まった
- その他

→どのようにすれば、より活発な討議が出来ると思いますか。  
下欄にお書きください。（意見の一部を概要で掲載）

|                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| もう少し細かい進行のルールがあってもよいと思いました。                                                                                                                                  |
| サポート係の方の助言が討議にとっても役立ったと思います。（→もっと一緒に話せても良いかと）                                                                                                                |
| 1回目で積極的なコミュニケーションを取らない人がいたので、参加者の心構えを充分徹底した方がよいと思いました。                                                                                                       |
| ゲームを第2回のおきもやったほうがよかったかも…                                                                                                                                     |
| 予め、テーマに対してまとめを書いてきてもらう。「解決策はこう思います。」と1つ提議・提案してもらう。<br><br>・行政がどのように動くかも分かっていた上で話し合った方がよかった。<br>・3日間を乗り越えるにあたって、本当に3日間で行政が動ける様になるのかが知りたい。                     |
| なんでも意味を言う（わいがや）。反対意見は云わない。                                                                                                                                   |
| HUGで意見が分かれた時に議論を開始する。                                                                                                                                        |
| 意見が違う人は、多数に合わせ、発言を控える傾向があると思った。まず最初に必ず順番に個人意見を発表する様にしてもらってから擦り合わせを行った方がよいと思った。                                                                               |
| 強い意見の方がいるとおとなしい方はあまり発言をしなくなるので、テーマについて考えたことを最初に1人3分ぐらい話していただけたら良いかと思います。リーダーになった方がうまく時間配分するのは難しいと思うので、時間管理は運営側がすると良いと思いました。                                  |
| 方法は現状で良いと思います。最初から進行役（リーダー）だけ決めても良い。                                                                                                                         |
| 討議グループの中でも少し話しが進んでくると、ムードメーカー的・リーダー的な立場の人が出てくる。そういう人中心の話し合いになりがち。グループの人数を4人位にすると、口数の少ない人も話すチャンスが増えるのでは、と思います。年代別グループ、主婦グループ、会社員グループというグループ分けでも意見が出やすいかもしれない。 |
| 行政と市民の状況をもっと分けて討議できるようにしていれば、もっと明確に意見が伝わる気がします                                                                                                               |
| Iの前のゲームからの導入は良い。IIは前提があいまい過ぎる。                                                                                                                               |
| スムーズなグループワークの導入を担っていただいたので、充分討議出来たと思う                                                                                                                        |
| 今回は2回とも活発な意見が出ていましたので、特に改善しなくても良いと思います。<br><br>・討議するテーマの用紙をリーダーに1枚渡すだけでなく、メンバー全員に配布すべき<br><br>・小さい用紙にボールペンで意見を記入したが、見えにくい。もう少し太いサインペン等使うべき。                  |
| 最初にゲームが出来て、リラックスして話せた                                                                                                                                        |
| ストレスのテーマだったので、3.11のテレビ見て思い出しました                                                                                                                              |
| 経験、体験した事のない事を討議するのは難しい。もっとたたき台を作るとか、今回の場合、地震体験者の意見を必要とする                                                                                                     |
| 進行係のリーダーシップ                                                                                                                                                  |
| 多少の事も思った事を声に出す。他の人の意見を良く聞く。                                                                                                                                  |

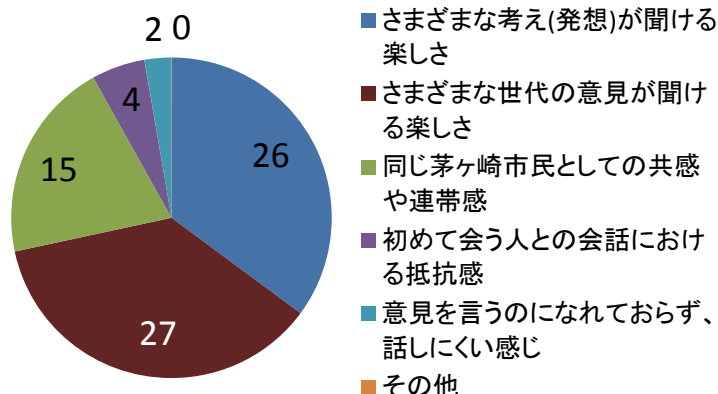
Q3, 討議の際、1つのテーマについて平均して何回くらいお話しされましたか。

|         |    |
|---------|----|
| ① 10回以上 | 10 |
| ② 7～9回  | 7  |
| ③ 4～6回  | 13 |
| ④ 1～3回  | 3  |
| ⑤ 0回    | 0  |
| ⑥ わからない | 1  |



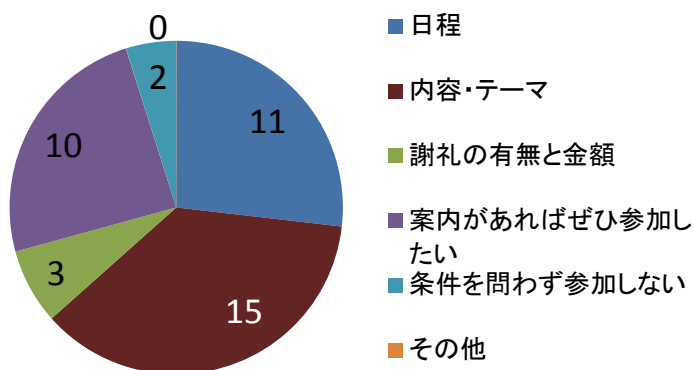
Q4, 市民討議会ではじめて顔を合わせる他の市民との会話について、どのように感じましたか。(〇はいくつでも)

|                         |    |
|-------------------------|----|
| ① さまざまな考え(発想)が聞ける楽しさ    | 26 |
| ② さまざまな世代の意見が聞ける楽しさ     | 27 |
| ③ 同じ茅ヶ崎市民としての共感や連帯感     | 15 |
| ④ 初めて会う人との会話における抵抗感     | 4  |
| ⑤ 意見を言うのになれておらず、話しにくい感じ | 2  |
| ⑥ その他                   | 0  |



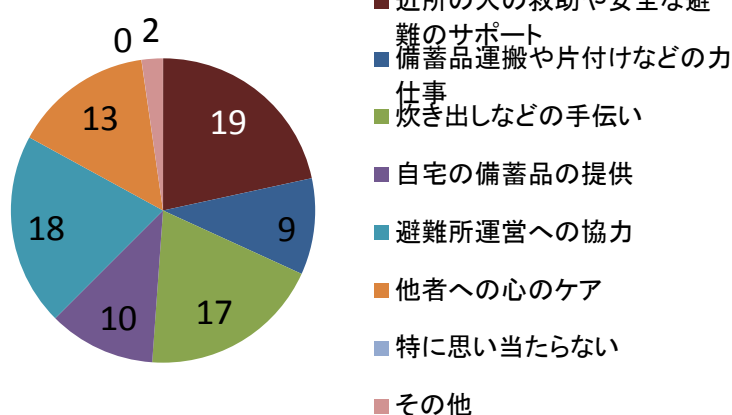
Q5, 今後、同様に市民討議会の案内が届いた場合、何を条件に参加を決めますか。

|                 |    |
|-----------------|----|
| ① 日程            | 11 |
| ② 内容・テーマ        | 15 |
| ③ 謝礼の有無と金額      | 3  |
| ④ 案内があればぜひ参加したい | 10 |
| ⑤ 条件を問わず参加しない   | 2  |
| ⑥ その他           | 0  |



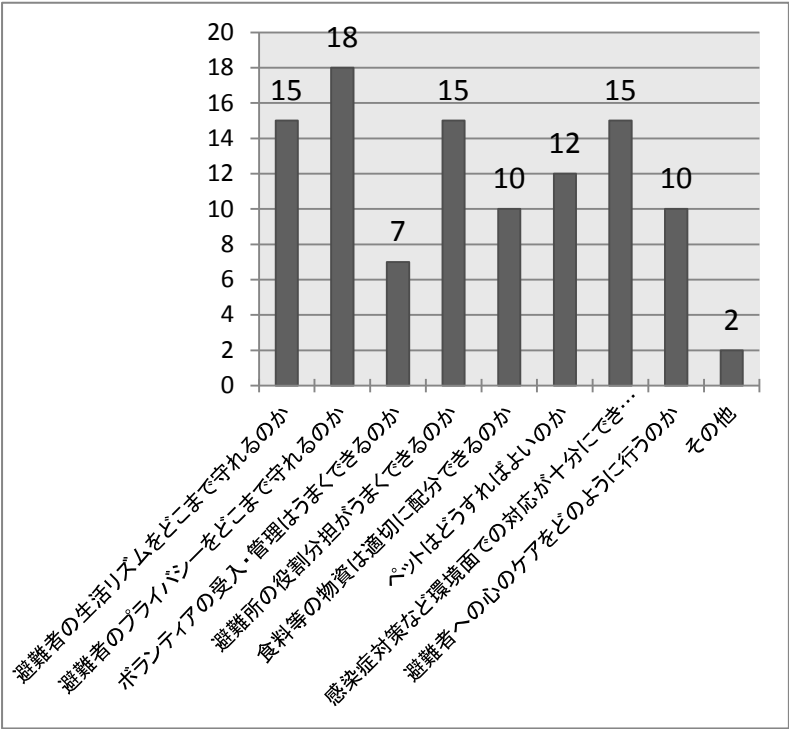
Q6, 討議を踏まえて、災害発生時、あなたは市民として何ができるとお考えですか。(〇はいくつでも)

|                       |    |
|-----------------------|----|
| ① 近所の人への救助や安全な避難のサポート | 19 |
| ② 備蓄品運搬や片付けなどの力仕事     | 9  |
| ③ 炊き出しなどの手伝い          | 17 |
| ④ 自宅の備蓄品の提供           | 10 |
| ⑤ 避難所運営への協力           | 18 |
| ⑥ 他者への心のケア            | 13 |
| ⑦ 特に思い当たらない           | 0  |
| ⑧ その他                 | 2  |



Q7, みんなで協力しながら避難所を運営する際、あなたが未だに不安だと感じていることは何ですか。(〇はいくつでも)

|                          |    |
|--------------------------|----|
| ① 避難者の生活リズムをどこまで守れるのか    | 15 |
| ② 避難者のプライバシーをどこまで守れるのか   | 18 |
| ③ ボランティアの受入・管理はうまくできるのか  | 7  |
| ④ 避難所の役割分担がうまくできるのか      | 15 |
| ⑤ 食料等の物資は適切に配分できるのか      | 10 |
| ⑥ ペットはどうすればよいのか          | 12 |
| ⑦ 感染症対策など環境面での対応が十分にできるか | 15 |
| ⑧ 避難者への心のケアをどのように行うのか    | 10 |
| ⑨ その他                    | 2  |



Q8, 市民討議会に参加して災害時の避難所運営において必要なもの、市民として必要なことについてどのようにお感じになりましたか。

|                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 災害が起きる前段階での準備や心がまえ。                                                                                                |
| リーダー及び組織のつくり方をどうするか。他人事ではなく積極的にコミュニティづくりに携わりたいと思えました。                                                              |
| 地域・近所・隣人・家族とのコミュニケーションを密にしたうえでの市（行政）との連携があるのではないかと思います。                                                            |
| 役割分担、ルール、運営                                                                                                        |
| 一人ひとりの意見の大切さとまとめることの難しさ                                                                                            |
| 普段の訓練、実際の現実から順々に改良と、町内の普段のコミュニケーションでの緊急時のあれこれの対応。                                                                  |
| 協力する気持ち、必要なこと-思いやりの気持ち、我慢。                                                                                         |
| 避難所にいつ行けば良いのか分からない。                                                                                                |
| 連携、協調性。                                                                                                            |
| 普段の備え。近所の付き合い方。                                                                                                    |
| 避難所の機能維持の為に可能な限りの自己犠牲を行う。                                                                                          |
| 近隣住民とのコミュニケーション。                                                                                                   |
| 地域で事前に話し合い準備ができることはしておくこと。                                                                                         |
| 情報共有の大切さ。地域コミュニティの大切さ。目頃からもっと関心を持つこと。                                                                              |
| 避難所運営委員会について必要なものは、リーダーシップのある人、そして市民はそれに協力することが必要だと思いました。また、情報伝達も必要だと思いました。                                        |
| 初期：リーダーの決定 長期：心のケア                                                                                                 |
| これからも市民討議会、続けていって下さい。大変有意義でした。                                                                                     |
| 3日分の食糧、ペット犬の食糧の必要性                                                                                                 |
| 小学校は避難所としては不適當。小さな子供が居る所に多勢の避難者が来ると、子供を管理できない。中学生以上は大丈夫！通学中の子供を守るように放送してほしい。                                       |
| 災害時のそなえが根本的に不足していました。（物的、心理的に）                                                                                     |
| 協力                                                                                                                 |
| まだまだ現実に自分の身にふりかかって来ると思っていない部分があり、多少なりとも他人事の様な思いの中での討議。やはりまずは自分の身の確保から。不安をかかえた避難所への生活、その中でのルール、もっと考えなければならなかったと思った。 |
| 情報、シミュレーション。第1に「自己責任」→普段からの備えの必要性を感じる。時間の共有になりました。                                                                 |

|                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------|
| 避難所運営を行う上では、やはりリーダーが非常に大事な役割を持つと改めて思いました。一般市民として協調性が大切であると思います。 |
| ・情報の的確な入手<br>・避難所運営にどこまで協力できるか、何が協力できるか考えたい                     |
| 各自個々が危機意識を持つこと                                                  |
| 情報の集め方、平等性、プライバシー等問題点が数多くあることが判った。津波情報が欲しかった。                   |
| 避難所に参加する意識付け、ルールなど常に自分がその時になった事など（災害に会った時）考えておく。                |

Q9, 市民討議会に参加して感じたこと、市民討議会に期待すること、日頃から大切に考えている地域社会に貢献できること、市民にはできそうにないと思ったことなど、自由にご記入をお願いします。

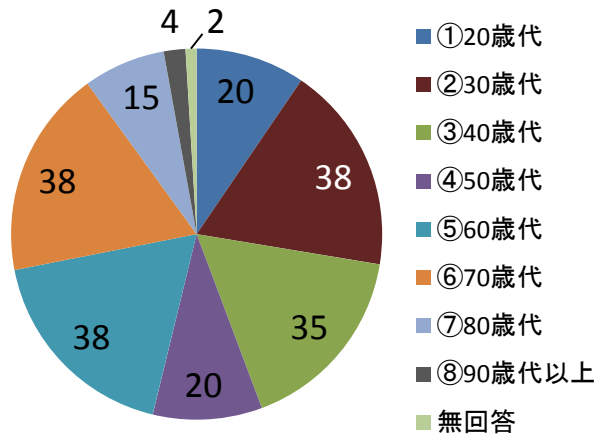
|                                                                                                                                                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 市民討議会での意見を、きっちり反映して欲しいです<br>・小さな子供がいる親世代の方があまり参加していなかったように思えました。もっと幅広い世代の方々が参加できたら良いと思います。<br>・地域社会で生活する上で、常に弱い立場の人に立ってものを考えられる人間でいたいと思っています。<br>・何かをしてもらうのではなく、自分から何かをすることが大切だと考えさせられた討議会でした。             |
| 市民は一度市民討議会に参加した方がよいと思いました。（必ず一度は選ばれて参加する方法）                                                                                                                                                                |
| このような市民討議会を頻繁に行っていただければ、1人でも多くの市民に発災に対しての意識づくりが高まると思います。                                                                                                                                                   |
| 地区、地域によって状況は異なるので、日頃から周りとのコミュニケーションが大切だと感じました。日頃出来ても、いざその状況になったらできない場合もあるので。                                                                                                                               |
| 茅ヶ崎市民として、全員に問題としてとらえる事の重要性                                                                                                                                                                                 |
| 津波対策（実際の重要性）                                                                                                                                                                                               |
| 救急の多人数の対応の充実                                                                                                                                                                                               |
| 安否確認の掲示板の場所の指定（富士山噴火時含む）                                                                                                                                                                                   |
| 市民にはできない事、選別など、平等にする。（トリアージ的なもの）                                                                                                                                                                           |
| もう少し内容をしぼった方がよい。                                                                                                                                                                                           |
| 市の取り組みが分かりました。今後も色々な意見を聞いて下さい。一人ひとりの力は、小さいので、行政、市民、力を合わせ、災害に取組みたい。                                                                                                                                         |
| 楽しい経験になりました。                                                                                                                                                                                               |
| 今日参加させて頂いたテーマは本当に自分自身の勉強になりました。ありがとうございました。茅ヶ崎市民としての意識が高まりました。今後できることを考えていきたいと思います。                                                                                                                        |
| 地域の自治会・地区社協などは、年配の方が多いので、もっと若い世代の方が地域のことを考え、地域づくりに参加できるような機会があると良いと思いました。井野先生から私たちには災害に対して実感が足りないというご指摘がありましたが、実際ほとんどの市民の意識はこのレベルなのだと思います。そのことを前提に災害に強い地域づくりを進めるためにどうしたらいいか？具体的なアドバイスがいただけたらありがたいなあと思いました。 |
| 年齢別開催。半日開催。世帯参加。地域開催。                                                                                                                                                                                      |
| 市民討議会や御意見箱のような形で、市民の意見を吸い上げるのは意義のあることだと思います。寄せられた意見は本当に市政に反映されるといいと思います。                                                                                                                                   |
| 参加できて良かったです。相手の側に立って、地域社会を運営して下さるとありがたいです。                                                                                                                                                                 |
| 無作為に抽出された人の討議で内容が良いと思いました                                                                                                                                                                                  |
| 交通量増大による交通事故                                                                                                                                                                                               |
| 大変私自身得るものがありました。                                                                                                                                                                                           |
| 普段分かっているようで、つきつめて考えると“穴”だらけでした。今後も回を重ねてよい地域になるよう努力したいと思います。                                                                                                                                                |
| 討議会に参加し、多くの方の意見を伺うことが出来、良い勉強になりました。市民の意見を行政に反映するという事は素晴らしいです。                                                                                                                                              |

|                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 地区において防災意識の高揚、防災訓練等いかに実施していくかが重要と思います。自分も意識が薄いので、出来るだけ協力していきたい。                     |
| 一日長い時間と思いましたが、アッという間に時が立ちまして、後期高齢者としては、この様な事がないので良い経験でした。この様な事を何度も催していただければ良いと思います。 |
| なるべくお金を掛けないでやって欲しい。71才の私は疲れました。早くに地番の整理を（停電の時困りました）。自分が何番か分からなかった。                  |
| 地区の自治会等でもこういった話をするべきである。                                                            |
| 災害時だけでなく、常に生命について自分の考えを持っている事で、自分が市民として貢献できる事を少しずつしていきたいと思いました。                     |

### (3)不参加者アンケート

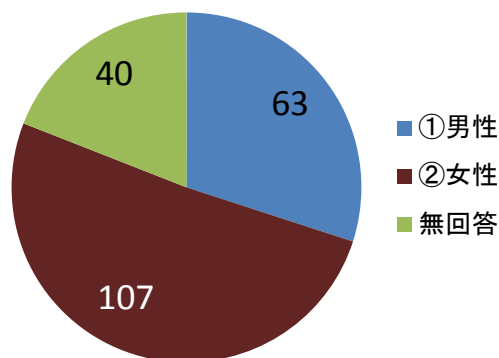
#### 参加者の年代

|         |     |
|---------|-----|
| ①20歳代   | 20  |
| ②30歳代   | 38  |
| ③40歳代   | 35  |
| ④50歳代   | 20  |
| ⑤60歳代   | 38  |
| ⑥70歳代   | 38  |
| ⑦80歳代   | 15  |
| ⑧90歳代以上 | 4   |
| 無回答     | 2   |
| 合計      | 210 |



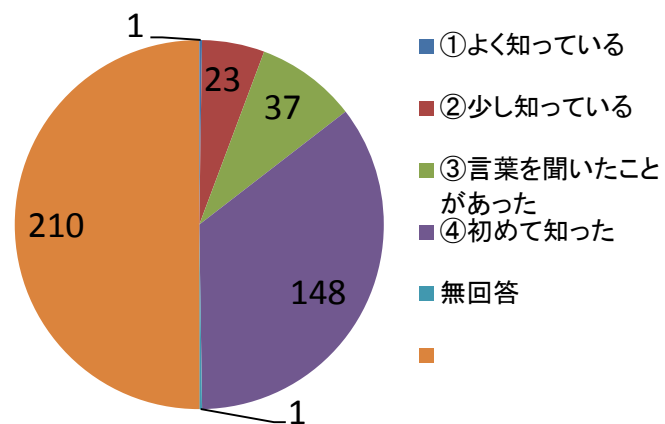
#### 性別

|     |     |
|-----|-----|
| ①男性 | 63  |
| ②女性 | 107 |
| 無回答 | 40  |
| 合計  | 210 |



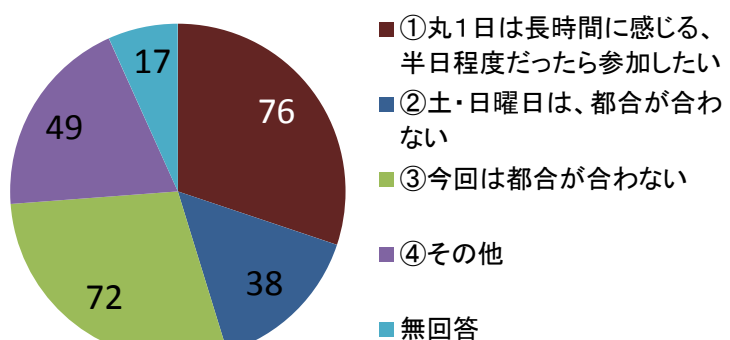
#### 市民討議会について、知っていましたか。(複数回答あり)

|               |     |
|---------------|-----|
| ①よく知っている      | 1   |
| ②少し知っている      | 23  |
| ③言葉を聞いたことがあった | 37  |
| ④初めて知った       | 148 |
| 無回答           | 1   |
| 合計            | 210 |



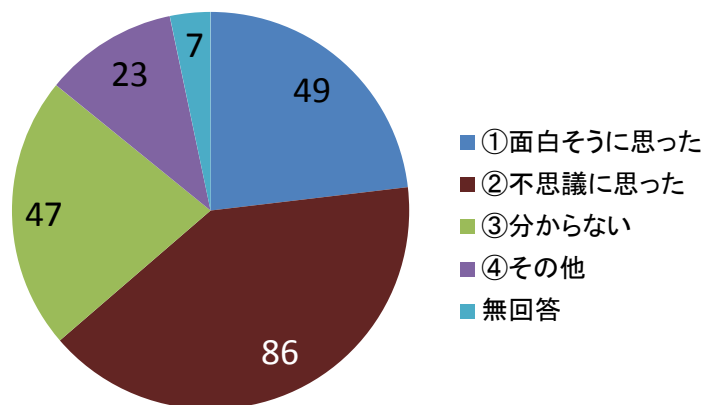
#### スケジュールについて(複数回答あり)

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ①丸1日は長時間に感じる、半日程度だったら参加したい | 76  |
| ②土・日曜日は、都合が合わない            | 38  |
| ③今回は都合が合わない                | 72  |
| ④その他                       | 49  |
| 無回答                        | 17  |
| 合計                         | 252 |



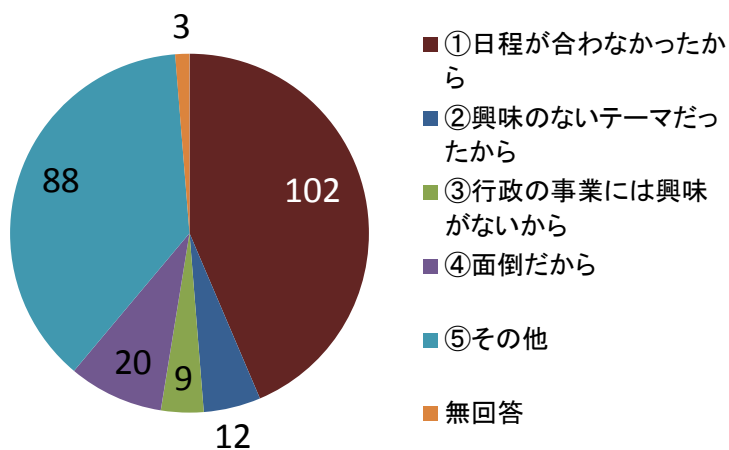
茅ヶ崎市市民討議会の案内が届いたとき、どのように感じましたか。(複数回答あり)

|           |     |
|-----------|-----|
| ①面白そうに思った | 49  |
| ②不思議に思った  | 86  |
| ③分からない    | 47  |
| ④その他      | 23  |
| 無回答       | 7   |
| 合計        | 212 |



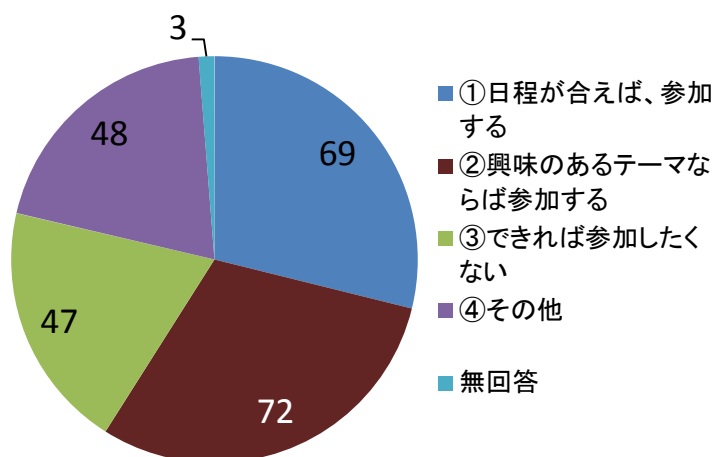
今回参加されなかった理由は何ですか。(複数回答あり)

|                 |     |
|-----------------|-----|
| ①日程が合わなかったから    | 102 |
| ②興味のないテーマだったから  | 12  |
| ③行政の事業には興味がないから | 9   |
| ④面倒だから          | 20  |
| ⑤その他            | 88  |
| 無回答             | 3   |
| 合計              | 234 |



次回、このようなイベントの案内が届いたら、どうしますか。(複数回答あり)

|                  |     |
|------------------|-----|
| ①日程が合えば、参加する     | 69  |
| ②興味のあるテーマならば参加する | 72  |
| ③できれば参加したくない     | 47  |
| ④その他             | 48  |
| 無回答              | 3   |
| 合計               | 239 |



## 5 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会の動き

- (1) 茅ヶ崎市「市民討議会」開催に関する協定の締結（4月1日）
- (2) 平成24年度第1回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（7月13日）  
平成24年度の実行委員会スケジュール、市民討議会テーマについて意見交換
- (3) 第2回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（7月24日）  
2012茅ヶ崎市「市民討議会」のテーマ選定、日程検討
- (4) 第3回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（8月16日）  
「市民討議会」のテーマに沿ったキーワード抽出・検討。アイスブレイク検討。  
当日の進行スケジュール概略検討。
- (5) 第4回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（9月18日）  
「市民討議会」の当日の進行スケジュール詰め。「市民討議会」事前・事後アンケート内容検討。
- (6) 模擬「市民討議会」実施（10月9日）
- (7) 第5回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（10月16日）  
「1回目情報提供」及び「2回目情報提供」の具体的内容と、当日の役割分担を。
- (8) 市民討議会事前アンケート実施（10月18日）
- (9) 市民討議会「地震に向き合う、助け合う～あなたの不安をみんなで解消するためには？～」開催（10月28日）。事後アンケート実施。
- (10) 第6回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（12月18日）  
市民討議会の振り返り。事前・事後アンケート結果の共有。
- (11) 第7回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（3月27日）  
平成25年度実施茅ヶ崎市「市民討議会」のテーマ検討。

## あとがき

茅ヶ崎市は、「市民意見」の聞き取りをさらに進めようとしている自治体である。なぜなら、多様な市民参加・市民的決定方法の採用にむけて、それらの試行に取り組んでいるからである。その事例の1つが、「市民討議会」である。この手法には、ランダムに選ばれた市民が集まり、参加者の討議をふまえた市民意見の形成が期待され、その聴取（市民側からいえば伝達）までのプロセスが含まれている。仕組みに難しさはあるが、市民や行政がうまく使えば、有意義な結果をもたらす可能性がある手法である。

さて、茅ヶ崎市は、今回の市民討議会の開催により、4回の討議会経験を得ることとなった。過去に文教大学が主催した1回を加えると、合計5回の市民討議が茅ヶ崎市で実施されたことになる。「新しい公共」といったかけ声が登場して以来、国内ではこの「討議会」手法が活況を呈し、討議という語がますます流通するようになった。この点を考慮に入れても、開催回数と継続状況において、茅ヶ崎市は市民討議会に積極的と表現して差し支えないと考えられる。さらに、参加を承諾して下さる市民の多さにも注目したい。今回の参加承諾率は8.63%（案内状を800人に送り、69名が承諾）であった。これは前回と同率であるから、茅ヶ崎市民の多くは、討議会の開催数を重ねても、積極的に参加呼びかけに応じて下さっていることになる。特記しておくべき事実であり、あらためてここで感謝を申し上げたい。

今回の討議会の特徴は、テーマが「災害」にかんするものであったことだ。実際には、災害発生後の避難所の運営について多くの時間を使ったが、参加者はその関心を討議に運び込んで下さった。一般に、自分にとってのかかわり（利益や損害など）をイメージしやすいテーマは、市民討議にむいているといわれる。それは、普段から自分が抱く感覚を、感想や意見として他者に伝えやすく、同時に、他者の意見を聞くことも容易であるため、討議というコミュニケーションが成立しやすいからである。加えて、何らかの「決定」につながる内容は、ますます参加者の真剣な討議を誘発し、それゆえ、市民の意見を形成する可能性が高まる。災害をテーマにいかに関心が高まったかは、本報告書に記載されるグループ討議の内容（要約）をご覧いただければ、その実際と熱意がおわかりいただけるだろう。

ただし、テーマと手法が決まれば討議会が成立するというわけではない。参加者、スタッフの討議会を作り上げる努力と協力関係が、やはりこの成否においては重要である。また、従来から、日本人は大人数の前で自身の主張をすることが苦手であると心配されてきた。それゆえ、市民参加も十分に進展しないのだろうというコメントを聞くこともある。ところが、市民討議会の開催を続けてわかったことがある。それは、市民意見の聴取・伝達を適切に行うには、手法の整備がとりわけ重要だということだ。討議会では少数のグループにわかれるが、私たちは初対面の人に向けてしっかり意見を言うことができる。その意見交換を含む討議によって得られた「市民意見」は、「普段の生活を遂行する専門家」としての貴重なものであり、科学者等の専門家の意見にも劣らぬ重要性を含むこともわかってきた。

以上の諸点から考えれば、市民にとっての「まちづくり」を進展させ、望ましい茅ヶ崎市の姿を実現しようとするとき、重要なのは市民討議会のような「討議する（市の方向性の承認にむけて語り合う）」機会が身近に存在し、それが仕組みとして整備されることであろう。この点で、市民討議会の実践は、茅ヶ崎市に利益をもたらす可能性が高いはずである。今後も皆様の協力を得て、この機会が存在されることを願ってやまない。

実行委員を代表して  
山田修嗣（文教大学国際学部）

平成 2 4 年度茅ヶ崎市市民討議会報告書

平成 2 5 年 3 月発行

---

編集 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会

発行 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会

茅ヶ崎市新栄町 1 3 番 2 9 号

公益社団法人茅ヶ崎青年会議所内